

Dラッチの
真理値表

D	CLK	Q
0	1	0
1	0	保持
0	0	保持
1	0	保持

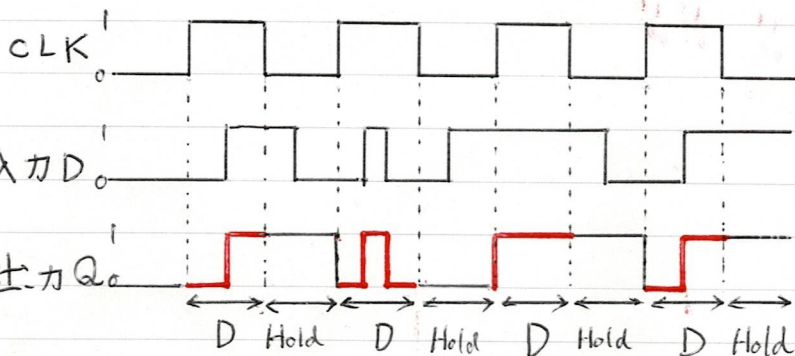
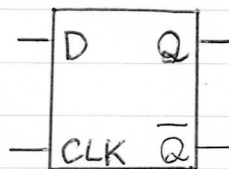
No.

Date

Dラッチ

回路図は別紙参照

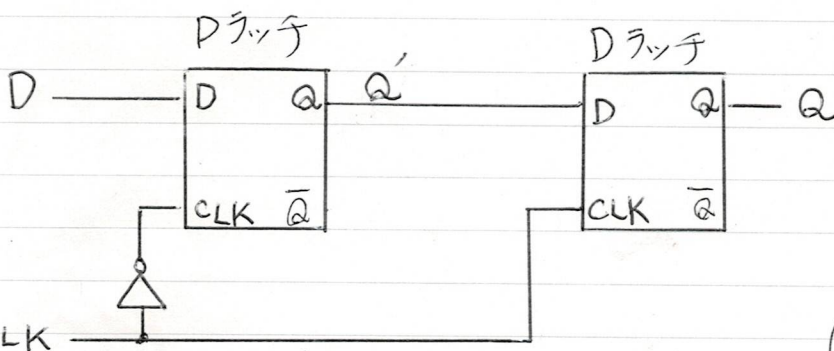
Dラッチ



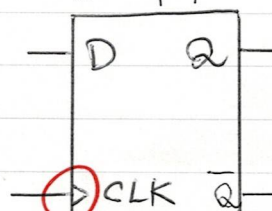
CLK=1 のとき $Q = D$
CLK=0 のとき Q は
出力を保持(Hold)する

D-FF

クロックの立ち上がりエッジでデータを転送する



D-FF



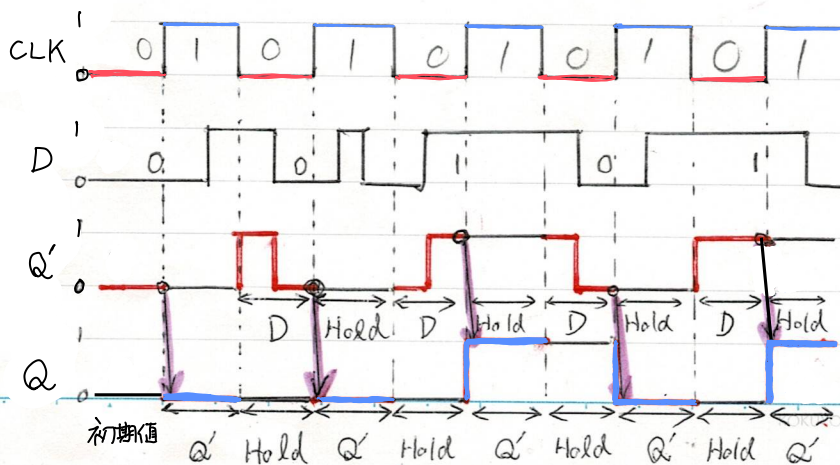
三角形はエッジトリガーを示す
立ち上がりエッジ
のタイミングで出力が生じる
Dラッチには三角形がない
ことに注意

D-FFの真理値表

D	CLK	Q	\bar{Q}
0	↑	0	1
1	↑	1	0

CLKの立ち上がりで
Qが変化

中の回路は別紙参照



CLK=1 のとき $Q' = \text{Hold}$

CLK=0 のとき $Q' = D$

CLK=1 のとき $Q = D$

CLK=0 のとき Q は Hold